



講師
パネリスト

こんどう よういち
近藤 洋一氏

野尻湖ナウマンゾウ博物館 館長

1955年 東京生まれ
1984年 信州大学理学研究科大学院修了
1984年 野尻湖ナウマンゾウ博物館開館当時から学芸員として勤務
学生時代から野尻湖発掘に携わり、現在野尻湖発掘調査団の事務局を担当する
専門は、古脊椎動物学、第四紀学、理学博士
日本各地のナウマンゾウの研究や古型マンモスの研究もすすめている。
著書：野尻湖のナウマンゾウ(共著)、最終氷期の自然と人類(共著)



ファシリテータ

はまだ たかし
浜田 崇氏

長野県環境保全研究所 自然環境部部長
信州気候変動適応センター スタッフ

1967年 東京生まれ
東京都立大学大学院理学研究科博士課程単位取得退学。
専門は気候学・都市気候学。長野県環境保全研究所では、県内の気候変動の実態把握や都市の中のグリーンインフラによる環境緩和効果の研究などに従事。



パネリスト

いかわ よう
井川 洋氏

環境省信越自然環境事務所 戸隠自然保護官事務所
自然保護官補佐

1998年 兵庫生まれ
信州大学大学院総合理工学研究科修了。学生時代は、諏訪湖や霧ヶ峰で環境の変化と鳥類の増減の関係を研究。
現在は、妙高戸隠連山国立公園を担当する、自然保護官の補佐(アクティブレンジャー)として、国立公園の現場パトロールや、普及啓発を担当。
長野市街のすぐ北側にある国立公園の最前線で鳥や植物の観察や自然環境保全に関わっている。

ゼロカーボンとは

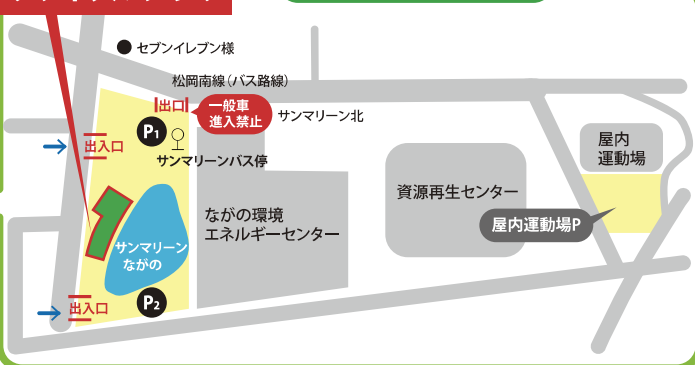
ゼロカーボンとは、企業や家庭が排出する二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、森林による「吸収量」などを差し引いて、排出量の合計を実質的にゼロにするという意味です。省エネに取り組んだり、再生可能エネルギーの導入により二酸化炭素の排出量を減らすことでゼロカーボンが実現でき、地球温暖化の防止につながります。

会場 ご案内



リサイクルプラザ

お車でお越しの場合



バスの場合

アルビコ交通 時刻表		
平日	長野駅→ 日赤経由	サンマリン 長野駅経由
11	12	長野駅行き、 手木行き
12	(40)	駅印=長野駅止
13	(10) 40	
14	10	30
15	10 50	20 45
16	20 50	(25) (45)
17	20	35

○ おすすめ

長野駅→サンマリン
所要時間約30分

長野市リサイクルプラザは、「サンマリンながの」と同じ駐車場・建物です **駐車場無料**

ゼロカーボンミーティング開催と同時募集!!

あなたのゼロカーボンへの想いをお寄せください!

応募期間

2026年1月7日から2月7日(必着)

作品募集

- キャッチフレーズ部門
- 川柳部門
- 私のゼロカーボン部門



詳しくは募集チラシを
ご覧ください。

◀募集チラシQR

<https://www.co2bank.org/2026zero-c.pdf>

応募方法

専用フォームから
またはメール

co2bank@nifty.com



▲専用フォーム